

科目	小児看護学方法論 1	試験日	令和 7 年 5 月 30 日
学籍番号		氏名	

- 1) () に適切な語句を記入してください
- ① 子どもは入院することで (苦痛)、不安、動揺、恐怖心などの心理面を抱きやすい。
 - ② 小児病棟に入院できる対象年齢は、0歳から (15) 歳までである
 - ③ 看護者は子どもにとって検査や処置は (主体) 的であることを理解する必要がある
 - ④ プレパレーションの対象年齢は、(3) 歳以上からである
 - ⑤ プレパレーションとは、(心理的) 準備のことである
 - ⑥ ディストラクションの目的は、遊びによってリラックスし、医療行為への集中を軽減することで、痛みや (不安) などの緩和を図ることである
 - ⑦ 検査、処置を受ける子どもへの看護では、正確・安全・迅速な実施、(体罰)、心理的準備を促す、対処行動を促すがある
 - ⑧ 与薬における確認の6原則 (6R) とは、正しい患者の氏名、正しい薬剤名、正しい薬剤量、正しい (投与経路)、正しい投与時間・投与間隔、正しい目的である
 - ⑨ 乳児の経口薬投与は、嘔吐するなどの可能性があるため哺乳後の (満腹) 時は避ける
 - ⑩ 幼児期での経口投与では、(2) 歳までは、看護師が手伝い、誤嚥がないように援助を行う
 - ⑪ 座薬挿入時の学童期の体位は、(仰臥位) 位になり、膝を曲げてもらう。
 - ⑫ 乳幼児の座薬挿入後の便排出の確認は、挿入後 (20 ~ 30) 分後に行う (※2つ正解で1問正解とする)
 - ⑬ 乳児期の子どもの採尿の仕方は、(膀胱) バックを使用し行う
 - ⑭ 抑制の利点には、(安全) と安静が保てるや治療や検査が効果的に行えるなどがある。
 - ⑮ 小児点滴管は、1 ml ≙ (60) 滴の微量輸液である。
 - ⑯ 輸液の経路は、末梢静脈内持続点滴と (中心静脈) 持続点滴の2つがある
 - ⑰ 頭囲測定では、後頭部は後頭結節、前頭部は (前頭結節) の上を通るように密着させ測定を行う
 - ⑱ 乳児期の子どもの体重測定では、衣服やおむつを外し、(裸) の状態で測定する
 - ⑲ (2) 歳以下の子どもの身長測定は、仰臥位で行う
 - ⑳ 胸囲の測定では、背面は肩甲骨直下部、前面は乳頭の (直上) 部を通るように水平にあてて測定する
 - ㉑ ストレス反応による対処方法の中で、現状を否定するや考えをやめるなどの行動を (逃避) という。
 - ㉒ ストレス時の対処のことを (コピー) という
 - ㉓ 3か月～3歳未満の子どものマンシエットのサイズは、幅5cm、長さ (17) cmである
 - ㉔ 外来時の看護には、トリアージや診察時の援助、検査・処置時の援助、家族でのケアに対する援助、療養生活に対する援助、(育児) 支援・健康支援がある
 - ㉕ 2～6歳の子どもは、論理的思考が十分にできないため、苦痛を伴う治療や親と離れて入院することを、自分が行ったことに対する (罪) としてとらえ、深く傷つくことがある

2) サザエさん一家のカツオ君が入院をしました。入院をすることによる本人と家族への影響をそれぞれ3つ述べてください。

カツオ君 (本人) への影響

①	治療・検査・処置による身体的苦痛	②	知らない人(医療者)・環境にさらされる
③	遊びや学習に制限があり、ストレスを抱える		

家族への影響

①	成長発達・社会適応に与える不安	②	兄弟不在に例、心細くなる。(70%)
③	母不在による 家内・家事の役割など生活変化		

3) インフォームドアセントについてそれぞれ説明してください

親・保護者に説明し、同意を得る。(子どもは説明・同意せざるが困難)
 子供に好いても、そこから実施する治療など、対象が理解できるような内容や方法で説明し、納得を得る。

4) インフォームドコンセントについて説明してください。

治療等を行う対象に、十分な情報を提供するよう説明し、同意を得る。

5) 小児看護学での自律性とは何かを4つ書いてください。

1	病状や治療方針に依る	2	治療を選択する。
3	自身の治療内容・個人情報や 家族歴・生活背景などがプライバシーを守る。	4	自己決定に従って行動する。

6) 7歳児の子どもの輸液投与にて点滴トラブルが起こりやすい要因を3つ挙げてください

1	活重やが活路は多。 点滴挿入部位の 維持が困難	2	薬剤・点滴に対する 不安・恐怖心を抱きやすい	3	認知・言語機能が 未熟であるため 正しい表現が難しい
---	-------------------------------	---	---------------------------	---	----------------------------------

7) 子どもは薬剤投与での副作用がしやすい理由を3つ挙げてください

1	成人に比べ、体の総面積が 小さい	2	薬物解毒・代謝・排出に 関与する臓器が未熟である。	3	水分・蛋白質・脂肪量が多く 薬剤に反応しやすい
---	---------------------	---	------------------------------	---	----------------------------

8) 8kgの子供の1日の維持輸液量を算出してください

式: $100\text{ml} (\text{体重kg}) / \text{日}$ (式と1時間の輸液量も記入してください)

$100 \times 8 = 800\text{ml}$

$800 \div 24\text{hr} =$

24 $\overline{) 800}$
 $\underline{720}$
 80
 $\underline{72}$
 80
 $\underline{72}$
 80
 $\underline{72}$
 80

答え: 800 ml / 日 33.33... 1時間の輸液量 33 ml/時間